

## 国語科学習指導案

指導者 海田町立海田西小学校

- 1 日 時 令和元年6月4日(火) 5校時
- 2 学 年 第6学年1組(男子12名 女子15名 計27名)
- 3 単元名 新聞の投書を読んで意見を書こう ～ヤングスポット(中国新聞)に投稿しよう～  
教材文「新聞の投書を読み比べよう」(「新しい国語 五上」 東京書籍)

### 4 単元について

#### (1) 単元観

本単元は、小学校学習指導要領(平成29年告示)解説国語編の第5学年及び第6学年2〔思考力、判断力、表現力等〕「B書くこと」の「ウ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。」及び、「C読むこと」の「ア 事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。」を重点的に指導するために設定した。

本教材は、新聞の投書「限界をこえた投球には疑問」と、それに対して寄せられた賛否の投書が三つ紹介されている。これらの投書はどれも同じような構成で書かれており、児童が実際に投書を書く際の文章構成として活用することができる。また、意見の基となる理由や根拠については、「自分の経験を示す」「アンケートなどの数値を示す」「一流選手の言動を示す」など、それぞれ説得力のある投書にするための工夫がされている。4つの文章を比較検討することにより、自分が納得できる意見や主張を児童に選ばせ、その工夫を活用して、新聞の投書を読んだり書いたりさせることができる。

#### (2) 児童観

本学級の児童は、これまで、「ずい筆を書こう」で、体験したことを基に自分の意見や考えを書く学習活動を行った。その際、書いた随筆を互いに読み合いアドバイスをし合うことで、よりよい文章が書けることを実感した児童が多かった。また、「イースター島にはなぜ森林がないのか」で、事実と意見とを区別しながら筆者の考えを読み取ったり、筆者の考えに対する自分の意見をもったりすることについて学習した。これらの学習を通して、理由を添えながら自分の意見を言ったり、事実と意見を区別して述べたり聞いたりすることを意識する児童が増えてきた。しかし、自分の考えがもてなかつたり、考えがあつたとしても理由やその根拠が弱く、説得力のある文章にするための工夫を考えながら書く力が十分についているとは言えない。

意見文を書く学習では、自分の意見に説得力をもたせるためにどのような工夫ができるのか知り、「書くこと」の学習を繰り返し行っていく必要がある。

#### (3) 指導観

本単元は、N I Eと関連付けて学習を展開する。「ヤングスポット(中国新聞)に投稿しよう」という言語活動を設定し、教科書の投書を比較検討することによって学んだ文章構成の仕方や説得力のある文章にするための工夫を、実際に投書を作成する際に活用させる。N I Eタイム等を使って、並行読書として実際に中国新聞のヤングスポット欄を読ませ、意欲を涵養す

ると同時に投書のテーマも考えさせたい。

また、書いた文章について、構成や説得の工夫等の良さや改善点などを児童に相互評価させる。どのような意図で書いたのか、もっといい書き表し方はないか等、互いに考えを交流することで学びが深まり、説得力のあるよりよい投書を作成することができる考える。

個々に応じた指導として、文章構成を考える際のワークシートを自分で選ばせたり、事前に班員の文章を読ませておきアドバイスの準備をさせておいたりして、「自力で文章が書けた。」「アドバイスが一つ言えた。」等の達成感をもたせるようにしたい。

## 5 単元の目標

- 投書の特徴をとらえ、書き手の主張や説得の工夫を読み取り、それらを自分の文章に進んで活用しようとしている。 【学びに向かう力】
- 自分の考えが読み手に伝わるように、事実と感想、意見を区別し、理由や根拠の述べ方を工夫して書くことができる。 【書くこと ウ】
- 読み手を説得するため、書き手が文章をどのように構成し、論を展開しているかを読み取ることができる。 【知識及び技能 文や文章 カ】

## 6 単元の評価規準

学びに向かう力	思考力・判断力・表現力等	知識及び技能
	書くこと	
○ 書き手の主張や文章構成の仕方(双括型)、説得の工夫を読み取り、自分の投書に進んで活用しようとしている。	○ 事実と意見を区別し、自分の考えが伝わるよう、工夫をしながら投書を作成することができる。	○ 説得する工夫として、双括型の文章構成について理解することができる。

## 7 本単元において育成したい資質・能力

育成したい資質・能力は、①進んで考える力 ②伝える力③振り返る力の3つである。本単元で重点的に指導したい資質・能力は次のとおりである。

育成したい資質・能力	本単元の学習を通して目指す姿
進んで考える力	ヤングスポットに投稿するために、自分の考えをどのような文章で伝えるか考えている。
伝える力	自分の主張や意見を、文章構成及び理由や根拠を工夫して書いて伝えようとしている。
振り返る力	自分の投書を読み返したり、友達の投書を読んだりしてポイントに沿って相互評価し合い、良さや改善点を知り推敲するとともに、投書という目的に応じた説得力のある文章を書く工夫を振り返りまとめている。

8 単元の学習指導計画（全8時間）

	学習活動	学 び	書 く	知 ・ 技	(・) 評価規準 (評価方法) (★) 資質・能力の評価 (評価方法)
1	<p><b>課題の設定</b></p> <p>○ 教科書を読んで投書に興味をもち、中国新聞のヤングスポットに投稿するというめあてに向けて学習の計画を立てる。</p>		◎		<p>・ 本単元のめあてを知り、教科書の文章を活用して説得力のある文章を書くために、学習をどのように展開するか考えている。 (発言・ノート)</p> <p>★ 自分の考えが伝わる文章の書き方を考え学習計画を立てている。〈進〉(発言)</p>
2 3	<p><b>情報収集</b></p> <p>○ 4つの投書を読み比べ、それぞれについて説得の工夫を見つけ、書き手の主張を読み取り、ポイントをまとめる。</p>		◎		<p>・ 4つの投書を読み比べ、説得力をもたせるために双括型の文章になっていることや理由や根拠の述べ方が工夫されていることを読み取ることができる。(発言・ノート)</p> <p>★ 説得力のある文章にするためにどのように工夫すればよいか考えている。〈考〉 (発言・ノート)</p>
3 4	<p><b>まとめ・創造・表現</b></p> <p>○ 書き手の主張や説得するための工夫を活用して、文章構成を考え、投書の下書きをする。</p> <p style="text-align: right;">【N I E】</p>	○	◎	○	<p>・ 自分の考えが伝わるよう、説得の工夫を考えながら投書を作成することができる。 (下書きの文章)</p> <p>・ 考えが伝わるように、文章の構成を考えて書いている。 (下書きの文章)</p> <p>★ 自分の考えを伝え、説得の工夫をしながら投書を書いている。〈伝〉(発言・ノート)</p>
5 本 時	<p><b>整理分析</b></p> <p>○ 説得力のあるよりよい文章にするために、下書きを互いに読み合い相互評価をする。</p>	○			<p>・ 互いの文章を読み合い、書き手の主張や説得の工夫について良い点や改善点を見つけアドバイスし合うことができる。 (行動観察・発言)</p> <p>★ 互いの文章を読み合い、その良さや改善点を指摘し合ったり受け入れたりしている。 (振) (行動観察)</p>
6	<p><b>まとめ・創造・表現</b></p> <p>○ これまでの学習でまとめたポイントや相互評価を基に、投書の文章を推敲する。</p> <p style="text-align: right;">【N I E】</p>		◎	○	<p>・ 事実と意見を区別し、自分の考えが伝わるよう、説得の工夫をしながら投書を作成することができる。 (投書の文章)</p> <p>・ 投書という目的に応じた文章構成で書くことができる。 (投書の文章)</p>

7	<p><b>まとめ・創造・表現</b></p> <p>○ 手直した文章を読み返し、説得力のある文章になるように投書を清書する。</p>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事実と意見を区別し、自分の考えが伝わるよう、説得の工夫をしながら投書を完成させることができる。(投書の文章)</li> <li>★ 説得力のある文章にするために工夫しながら投書を書いている。〈伝〉(投書の文章)</li> </ul>
8	<p><b>まとめ・創造・表現</b></p> <p>○ 互いの投書を読み合い、友達の主張や説得のよさについて考えを交流する。</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友達の投書を読み、書き手の論の進め方や説得させるための工夫を読み取り、その良さを交流することができる。(行動観察・発言)</li> <li>★ 自他の文章を読み合い、それぞれの主張や説得の工夫の良さを見つけ、学習を振り返っている。〈振〉(発言・ノート)</li> </ul>

## 9 本時の学習

### (1) 本時の目標

- 説得の工夫や段落構成について考えながら互いの文章を読み合い、良い点や改善点を見つけアドバイスすることができる。

### (2) 本時の評価規準

- 書き手の意図を聞きながら、よりよい文章になるようにアドバイスをし合っている。

### (3) 本時の展開

過程	学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する状況」と判断した児童への指導の手立て)	評価規準 (○) 教科の指導事項 (★) 資質・能力 (評価方法)
導入	<p>1 教科書の投書の中で、自分が納得した文章を音読する。</p> <p>2 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認する。</p>	◇ 文章のどこを読んで納得したのか確認しながら音読させる。	
	よりよい文章にするために、互いにアドバイスをし合おう。		
展開	<p>3 説得力をもたせるための工夫のポイントを再確認する。</p> <p><b>工夫のポイント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体験から考えたこと</li> <li>・ アンケート等の数値</li> <li>・ 名人等の言葉や格言</li> </ul>		

	<p>4 3人グループに分かれ、互いの文章について読み合い、アドバイスし合う。</p> <p><b>アドバイスの視点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文章の構成が双括型になっているか</li> <li>説得するための工夫のポイントを使っているか。</li> <li>漢字や言葉づかいの間違いはないか。</li> </ul> <p>5 班内でアドバイスし合ったことを、全体で交流する。</p> <p><b>協働の場面での児童の言葉</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 友達の下書きを事前に読ませ、教師と一緒に考えて書き込ませる等して、アドバイスの準備をさせておく。</li> <li>◇ 文章構成や工夫のポイントに従ってアドバイスをさせる。</li> <li>◇ リーダーを決めさせ、時間内に班員全員がアドバイスし合えるようにする。</li> <li>◇ アドバイスを受けたことについては、自分の下書きの文章に赤鉛筆で書き込ませ、第6時の推敲の手がかりとさせる。</li> <li>◇ 班での話し合いでは気付かなかったことで、自分の文章に生かせることがないか、ポイントごとに考えながら全体交流をさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 書き手の意図を聞きながら、よりよい文章になるようにアドバイスをし合っている。 (発言、行動観察)</li> <li>★ 互いの文章を読み合い、その良さや改善点を指摘し合ったり受け入れたりしている。〈振〉 (行動観察)</li> </ul>
	<p>・ ○段落目の「～～」のところは、「外国人と話した時のこと」をもっと詳しく書くと、説得力のある文章になると思うよ。⇨では、～したことも書こうかな。</p> <p>・ △△という言葉を使うともっと伝わりやすいよ。⇨でもぼくは、○○という言葉を使いたいんだ。⇨じゃあ、～～と書いてみたらどうかな。</p> <p>・ 本で読んだことを使って書いてあって、説得力があると思うよ。</p>		
<p>まとめ・振り返り</p>	<p>6 本時の学習の振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 振り返りの時間を十分にとり、班や学級で話し合っただけを文章で書かせる。</li> <li>◇ 特に印象に残った友達のアドバイスを具体的に書かせる。</li> </ul>	<p>私は、理由を書くところで○○君が「～～」とアドバイスしてくれたので、書き直してみると説得力がある文章になりました。もっと直したらいいところがないか考えて、自分の考えを伝えたいです。</p>

(4) 板書計画

新聞の投書を読み比べよう  
めあて

よりよい投書にするために、互いにアドバイスを  
し合おう。

説得の工夫のポイント

- ・自分の体験を根拠にする。
- ・アンケート結果を根拠にする。
- ・よく知られている人の言葉を引用する。

アドバイスを聞いて

- 自分の体験をもっと詳しく書く。
- △△さんに聞いた話を書き加える。
- 本（新聞）で読んだ話を書き加える。

振り返り

私は、理由のところで「〜〜」と書いていたけど、○○君がアドバイスをしてくれ、その方が説得力があるなと思ったので、下書きを書き直そうと思います。